

思いやりを増やす。事故を減らす。

AOMORI SMART DRIVER

青森スマートドライバーとは？

首都高速の事故を減らす為、2007年8月にスタートしたプロジェクト『東京スマートドライバー』。交通規制や取り締まりといった、従来の交通安全キャンペーンとはまったく違う切り口で、良い運転をするドライバーを褒め、コミュニケーションの力で交通事故の削減に取り組むことで、大きな成果を創り出してきました。

この思想を受け継いだご当地スマートドライバーが全国で次々と発足し、青森県でも2011年9月に若者と高齢者のよりよい運転と県外からお越しの観光客や歩行者に優しいドライバーを増やしていく事を目標に据えた『青森スマートドライバー』が誕生しました。

『青森スマートドライバー』では、様々なツールやイベントを通して「安全運転はカッコイイ!」というイメージを定着させ、青森県内の交通事故の削減と運転マナーの向上を目指します。

促進ツール①「オリジナルステッカー」

日本のトップクリエイター、水野学氏がデザインしたスマートドライブオリジナルステッカー。

「安全に目的地に辿り着く事」がゴールであるというメッセージを込めたピンクチェッカーフラッグは男女問わず支持が高く、東京ではおしゃれな若者を中心に人気があり、実際に車に貼ってもらえる交通安全キャンペーンステッカーとして注目されています。



促進ツール②「ホメダマ」

良いドライバーを「褒める」為のユニークなツール。首都高速ではスマートドライバー仕様のNISSAN GT-R通称「ホメパト」がサービスエリアでドライバーに配布し、安全運転の啓蒙活動を行っています。

※現在は2代目ホメパト、三菱「i-MiEV」が活躍中！



青森スマートドライバー公認ドライバー『りんご娘』

認知度抜群！だれからも愛される彼女たちが青森スマートドライバーの公認ドライバーとして青森県内を走り回り、交通安全の啓蒙活動を行っています！

その他、様々なツールやイベントを通して、青森県内の交通事故の削減と運転マナーの向上を目指していきます。